

4

**みんなで作る  
安心なまち**

## ① 消防・救急体制の充実

### 滝川地区広域消防事務組合負担金

1億8723万円

(担当：総務課総務グループ)

消防組織の維持、充実のためには、多額の費用が必要となるため、新十津川町の消防事務は、滝川市、雨竜町とともに滝川地区広域消防事務組合（一部事務組合）を設置し、その運営の経費を各市町で応分に負担しています。

主なものとしては、消防職員の人件費、消防署庁舎などの維持管理経費、消防団の運営経費、消火栓などの消防施設の整備・維持管理経費、消防車両の維持管理経費、消防無線のデジタル化の経費などがあります。また、平成24年度は、第一分団の消防タンク車1台を更新し、その経費を負担しました。



## ② 防災体制の充実

### 地域防災力の強化～総合防災訓練～

38万円

(担当：災害対策事務局)

町では災害に備えて3年に1度総合防災訓練を実施しています。平成24年度は町民や消防団員など360人が参加しました。

大地震を想定した訓練は、簡易担架搬送訓練やロープブリッジ救出訓練、消火訓練や日赤奉仕団による炊き出し訓練など、参加者一人一人の防災意識の高揚につながる訓練でした。



### 災害救助物資の備蓄

11万円

(担当：災害対策事務局)

災害時に備えて、最低限の生活必需品をゆめりあに備蓄しています。

備蓄数量は、100の方が1日生活できる量を目安としています。

平成24年度は、消費期限が切れたスティックパンや缶詰、乳児用粉ミルクなど不足分の補充を行いました。

#### <主な備蓄物資>

哺乳ビン、育児用ミルク、パンツオムツ、紙オムツ、避難用品生活セット、毛布、カセットコンロ、非常用トイレ、水電池、アルファ米、みそ汁、缶詰、缶入りカンパン、クラッカー など



### ③ 生活安全体制の充実

#### 中央地区市街地街路灯の更新

3264万円

(担当：住民課住民活動グループ)

国道275号沿線にある街路灯の機能低下や未設置区間をLED灯に更新、新設し、省エネと安全安心の明るい街づくりを推進しています。

平成24年度は、橋本区・みどり区内29基を更新しました。



#### 安全・安心推進協会の支援 148万円

(担当：住民課住民活動グループ)

町内の交通安全や防犯のために活動する新十津川町安全・安心推進協会へ助成を行いました。

安全・安心推進協会は、青色回転灯防犯パトロール活動の実施や各季の交通安全運動に参加し、本町の安心で住みよいまちづくりに貢献しています。



#### 交通安全施設整備 1020万円

(担当：住民課住民活動グループ)

交差点を見やすくするために設置された交差点照明38基のうち、5基の電球交換や柱の修繕を行いました。

また、老朽化した3基を更新しました。

更に弥生区に安全運転啓発看板を新設しました。

